



みんなの 広場



※上の白点は、題字と同じ内容を点字で表したものです。

主な内容

いわて子どもの森開館 20 周年を迎えて…	P1~3
施設だより	P4
第 31 回岩手県障がい者文化芸術	P5
シリーズ 時の足跡~10 年を振り返って~	
新採用職員紹介	P6



こどもの日スペシャルワークショップ『よみがえるカタチーつなぐ×あそぶ×カタチー』の様子

岩手県立児童館いわて子どもの森は、豊かな自然に囲まれた奥中山高原に全国で 22 番目の大型児童館として、2003（平成 15）年 5 月 5 日に開館しました。そして、2023（令和 5）年 5 月 5 日に、開館 20 周年という節目を迎えました。特集ページでは、20 年の歩みをご紹介します。



開館記念日には、20 周年セレモニーを開催。手作りくす玉と旗で、集まった皆さんとお祝いをしました。

開館二十周年を迎えて…

平成15年の開館から20年、のべ300万人以上の方が、岩手県唯一の大型児童館「いわて子どもの森」で、『おとなもこどもものんびり ゆっくり、ぽけっとしようよ』を合言葉に、思い思いの時を過ごしてきました。

開館当時の子どもは親になり、今は我が子と一緒に、親は祖父母となり、孫と一緒に遊びに来る。子どもたちの歓声に満ちあふれ、様々な世代が紡いできた20年です。

これからの未来も楽しいひと時を過ごすことができるよう、スタッフ一同取り組んでまいります！

岩手県立児童館いわて子どもの森
館長 浅沼 茂



これまでわたしたちはみんなの「うれしい」にたくさん出会うために「たのしい」をたくさん作りたと思ってやってきました。

そしてこれからもわたしたちはみんなへの「ありがとう」と「うれしい」のキモチをわたしたちなりの「たのしい」のカタチにして届けたいと思います。



ありがとう 20年。
これからもよろしくね。

2022

2018

2013

2011

2010

2008

2007

2006

2003



2022年4月、ひみつの森に新しい木製アスレチックが完成。



2018年5月3日、開館15年目で来館者数300万人を突破。



2013年7月21日、開館10年目で来館者数200万人を突破。



2011年2月、公募により子どもの森キャラクターの愛称が『ぼけっとりー』に決定。



2008年7月20日、開館5年目で来館者数100万人を突破。



2007年4月、ちくちくハウスがオープン。



2006年4月、ようかいスタンプラリーがスタート。



2003年5月5日、開館セレモニーでは増田知事(当時)らによるテープカットが行われた。また、「いわて子どもの森」の名前を考えてくれた子どもたちが開館宣言を行った。開館初日の来館者は1万人を超え、大盛況となった。

遊び場がリニューアル！



2010年4月、遊び場がリニューアル。子どもシアター「ぼけっと」が登場したほか、おもちゃ湯や絵本の部屋「ヨムヨム」もデザインが一新。さらに、正面玄関を入ってすぐのホワイトホールには、新しいキャラクターたちが登場。



2008年4月、おしごとトレインがオープン。運転室や写真館、郵便局のほか、当時はカフェや美容室などの車両があった。

岩手県立児童館いわて子どもの森は、児童厚生施設の「児童館」として岩手県が設置、受託運営を行う。平成18年4月からは、岩手県社会福祉事業団が指定管理者として運営。

第31回 岩手県障がい者文化芸術祭

施設だより

各イベントの主な日程	
作品展示	令和5年11月23日(木・祝) ～令和5年12月18日(月)
記念式典(応募作品展表彰式)	令和5年12月10日(日)
ふれあい音楽祭2023	令和5年12月17日(日)

11月23日(木・祝)から12月18日(月)まで、ふれあいランド岩手を会場に「第31回岩手県障がい者文化芸術祭」を開催し、延べ13,000人を超える方々にご来場いただきました!

応募作品展では、絵画・書道・写真・工芸・文芸の5部門に、過去最多となる362点もの魅力溢れる作品が並び、12月10日(日)の表彰式では、各部門の受賞者の皆様に賞状と副賞を贈呈いたしました。

12月17日(日)には、「ふれあい音楽祭2023」を開催し、岩手県内で音楽活動を行っている16団体が出演して、和太鼓やダンス、コーラスやギターの弾き語り等、様々なパフォーマンスが会場を盛り上げました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、思うような活動ができない時期もあったことと思いますが、年々、作品展、音楽祭ともに応募者数が増えており、文化芸術活動への興味・関心の高まりを感じているところです。

引き続き、県障がい者芸術活動支援センターかだあるとは、障がいのある方の芸術作品の鑑賞や発表の機会の拡大、創作活動への支援等に取組んで参ります。

松山荘

創立50周年を迎えて

松山荘は昭和48年4月、宮古市松山地区に創設され、平成18年の全面改築を経て、今年創立50周年を迎えました。創設時から入所されている方は現在2名、また、利用者の状況も、当時は知的障害がある方が中心でしたが、現在は精神障害がある方が中心になるなど大きく変化しています。

創立50周年を記念し、コロナ禍ではありましたが、当荘の特色である地域交流事業再開のため、利用者様や地域の方々にも協力を依頼・協議を進めてきました。感染予防を徹底のうえ、6月には室内ペタンク大会、8月には夏まつりを開催し、多数の地域の皆様にも参加をいただきました。東日本大震災や平成28年の豪雨災害後に転居されてきた方々も多く、時代の流れとともに改めて地域の方々との関係を深

める機会になったと感じています。今後も地域の皆様の協力を得ながら、地域福祉拠点としての役割を果たして参ります。



作品展示

たくさんの魅力溢れる作品が並びました!

記念式典

賞状と副賞を贈呈しました



ふれあい音楽祭 2023

会場は大盛り上がり! 観客席からはアンコールもかかりました



療育センター 障がい者支援部

退所に向けた進路支援について

施設入所から地域社会に戻るにあたっては、生活の場、活動の場が必要であり、その生活は利用者様が自分らしく、また様々な地域資源を活用しながら自立した生活が送れるようになることが大切です。

療育センター障がい者支援部には、自立訓練(機能訓練・生活訓練)、就労移行支援の3つの機能があります。それぞれ利用期限があり、利用者様が自身の障がいを理解しながら身体的な機能の回復、生活面における不安や悩み、課題を明らかにしながら必要な訓練を実施していきます。アパートやグループホームなどの事業所の見学も訓練に含まれます。

また、就労を含め、日中に活動する場について、ご本人の希望と特性(得意・苦手など)を把握しながら、企業や事業所の見学、体験を調整します。リワークの支援もこれに含ま

れます。利用者様の希望に寄り添いながら、目標の具体化に向けて必要な助言を行うとともに、関係機関とチームを組み、利用者様が自立した生活を送れるよう、バトンを繋ぐことが大切であると考えています。





シリーズ
時の足跡
 ～10年を振り返って～

入職から10年を迎えたお二人の方に、これまでの仕事や思い出に残っていること、後輩職員へのメッセージなどをお聞きしました。

かたくり 寮棟主任 菊池 春香さん

①これまでのキャリアと現在のお仕事について、教えてください。

私は今まで福祉型障害児入所施設たばしね学園、共同生活事業所「みたけの園」、医療型児童発達支援センター「つくしんぼ」、放課後等デイサービス「ぼけっと」で業務にあたりました。現在は、障害者支援施設かたくりで障がいのある方々への支援を行っています。職務内容としては、日常生活支援に加え、寮棟の運営に関わることや支援記録、預り金台帳等の整備や助言・指導、個別支援計画の作成やモニタリング等のサービス管理責任者業務を行っています。



②10年を振り返って、一番思い出に残っていることは何ですか？

たばしね学園で初めて担当した児童の成長を傍で見守ることができたことです。生活スキルや言葉などを教えたり、一緒に遊ぶ中で様々なことを学び、成長していく姿に感動を覚えたとともに、一生懸命関わることで気持ちは伝わることを知ることができ、良い経験をさせていただいたなあと感じています。担当児童と一緒に笑ったり泣いたりした出来事が、今も私の中に強く残っており、大切な思い出となっています。

③後輩職員へのメッセージをお願いします。

知的障がいや発達障がいのある方々への支援は一筋縄にはいかないことが多く、悩むこともあると思います。しかし、一生懸命関わることで利用者様なりに伝えてくれたり、利用者様それぞれに合ったサービスの方法を考えることが、自分自身の成長に繋がることもあると思います。大変な時には、共に働く仲間を頼って、無理せず支援にあたっただければと思います。

④最後に、これからの自分へ向けてのエールをどうぞ！

これからも努力を忘れず、前向きに頑張っていきましょう！



療育センター 看護師 本間 くみ子さん

①これまでのキャリアと現在のお仕事について、教えてください。

学生時代に療育センターで実習させていただいたときに、入所している子どもたちの可愛さや療育センターの雰囲気惹かれました。そこから障がい児看護に興味を持ち、大学卒業後に療育センターに就職しました。初めは病棟勤務となり入所している子どもたちの生活のお世話をしていました。2年前から整形外科外来に異動し、現在は外来受診における診察介助などの看護業務を行っています。



②10年を振り返って、一番思い出に残っていることは何ですか？

療育センターでは夏祭りやハロウィン、クリスマス会、豆まきなど毎年様々な季節行事があるので、子どもたちと一緒に自分も楽しんで参加しています！中でも一番思い出に残っているのは、数年前にクリスマス会でダンスを披露したことです。子どもたちからスタッフまで、大盛り上がりでした。また機会があればまた挑戦したいと思っています。

③後輩職員へのメッセージをお願いします。

つらいこと、大変なことがあったら、嫌なことは一旦忘れて子どもたちと一緒に楽しみましょう！子どもたちの笑顔に癒されているうちに、気づくと嫌な気持ちも吹っ飛んでいるはずですよ！

④最後に、これからの自分へ向けてのエールをどうぞ！

これからも変わらず頑張っていこう！



**新採用
職員紹介**



岩手県立療育センター
臨床検査技師

※令和6年3月1日採用

ふじ た ひかる
藤田 光

♪マイフーム♪ スクーターで散歩

こんにちは。皆さんよろしくお祈いします。